

① 果物の認知度向上、消費拡大

新幹線マルシェ & 「ONE NAGANO」 復興支援 (JR東日本グループとの連携)

- JR東日本グループ「地域再発見プロジェクト」と連携し、フレッシュなぶどうやりんごを北陸新幹線あさまで運び、東京駅で販売



JR東日本社員
銀座NAGANOスタッフと
連携して実施



復興支援を兼ねて
被災地のりんごを販売

- 東京駅→須坂のぶどう園をオンラインで繋いでぶどう狩り



須坂市産ぶどう
「シャインマスカット」
「ナガノパープル」
1時間で完売



東京駅にしながら、オンラインでおいしい食べ方やぶどうの豆知識などを楽しく学び、ぶどう狩りを体験

R2.9月~11月 計5回開催 於 東京駅スクエアゼロ

首都圏の高級フルーツ店での発信

- 「新宿高野」で千曲市産の生食用高級あんず「杏月」(きょうづき)等を販売



千曲市産のハーコットを
パフェやタルトとして商品化し、
「アンズの里」の魅力を発信

東京駅での信州 ぶどう・りんごフェア

- 東京駅グランスタ等の5つの飲食店が長野地域のぶどうやりんごを使用して新たに創作したスイーツ等を提供



北海道チューボー
ナガノパープルのきらきらパフェ



元町 香炉庵
丸ごとシャインマスカット大福



コロパン
東京りんご

R2.10/15~10/31
於 グランスタ東京 など

ながの果物語りの取組

ながの地域くだものまるごと商談会

- ながの地域で生産された果物や加工品を対象に、果物の栽培農家等と実需者との商談、交流の機会を提供

売り手事業者:24者
 買い手事業者:31者 参加



商談対象商品

りんご、シャインマスカットなどの青果
 ジャム、ジュース、シードル、ワイン等の果物を加工した飲料等
 フルーツグラノーラや果物を用いた菓子等

R2.10/8開催 於 MIPARK長野

子どもへのフルーツ消費拡大

- 地元のお菓子屋さんと連携し、果物のスイーツを長野地域の保育園児に提供



R2.7月~10月
 長野市・須坂市・千曲市の保育園で6回開催

プロサッカーチームと連携した販売

- ACパルセイロの公式戦会場で「復興りんご」を販売



R2.12/20開催
 於 長野スタジアム



② 果物の新たな魅力発信

果物に関するフォトコンテスト

- JAながの・JAグリーン長野と連携
 果物に関わる農村景観の魅力発信

第29回JAながのビビッド写真
 コンテスト (R2.9/24開催)
 「ながの果物語り賞」



美味しい秋の色

第9回JAグリーン長野
 フォトコンテスト
 「ながの果物語り賞」
 (R3.1/25開催)



山手のリンゴ畑

果物による新商品の開発

- 振興局の「ながの果物語り
 新商品開発チーム」が果物を使
 った新しいお菓子の開発を支援



高山村で開発中
 の「ポムショコラ」
 (リンゴのワインコン
 ポートチョコレートがけ)



商談会でのテストマーケティング等

健康づくり・食育フォーラムの開催

- 長野地域の若者を対象としたオンラインによる
 フォーラム

野菜ソムリエ上級プロ NAHO氏による
 「若者に知ってほしい野菜と果物の魅力」



R3.2/17開催

③ 技術習得・生産性向上の支援

技術実践ほ場での基本作業の技術習得

稼げる技術の習得講座

【りんご】

新わい化(高密度植)栽培
 受講生1人1樹を担当



支援センターで説明後、受講生が割り当てられた樹で技術実践・作業



【ぶどう】

短梢無核栽培
 受講生1人4～5枝を担当

ICT活用による技術情報の発信

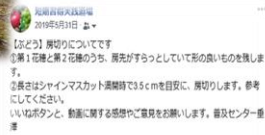
【会員ホームページでの情報発信】

定点カメラ (ほ場画像)
 気象観測装置(気温、降水量
 日照時間等)
 講座資料等



定点カメラ

気象観測装置
 (クロープナビ)



【Facebookによる発信】

作業動画・写真の配信
 質問・回答



果樹団地の再生による高生産性団地の整備

■ 中山間地の樹園地を再生、農地を集積し、高収益の新たな果樹団地を整備 (県内初)

事業実施地区 長野市若穂綿内 綿内東町地区

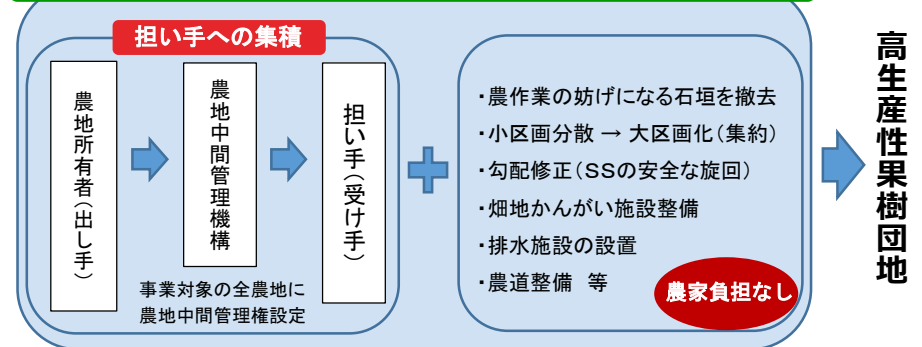
地区面積 A=約23ha
 清水工区：約10ha 山新田工区：約13ha

取組内容
 ・R元年度に県営事業として採択
 ・R2年度は山新田工区の基盤整備に着手(～R4.6月竣工予定)



(10/14起工式の様子)

綿内東町における農地中間管理機構関連農地整備事業の導入



現況



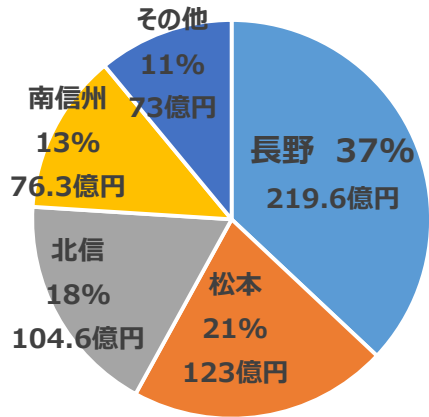
整備後イメージ



県内約4割の生産額を誇り、長野地域の特長である果物を活かした産業振興、地域活性化に取り組めます。

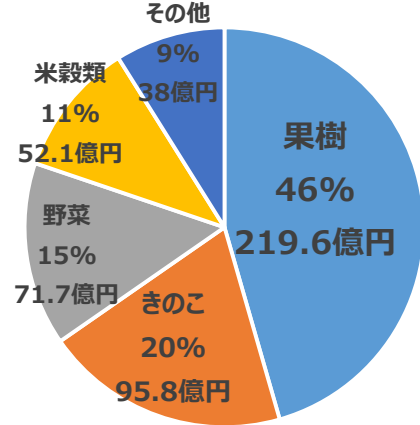
長野地域の果樹栽培の特徴

県内の果樹産出額比



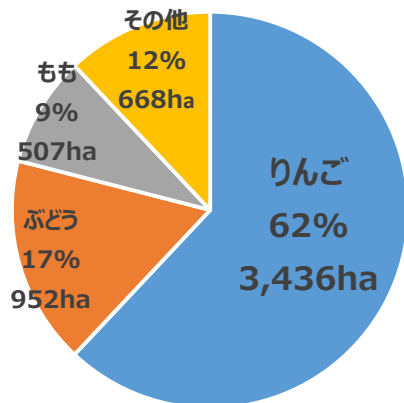
■ 県全体の果樹生産額の37%が長野地域

長野地域の農業産出額



■ 長野地域の農業産出額のうち46%が果樹

長野地域の樹園地面積



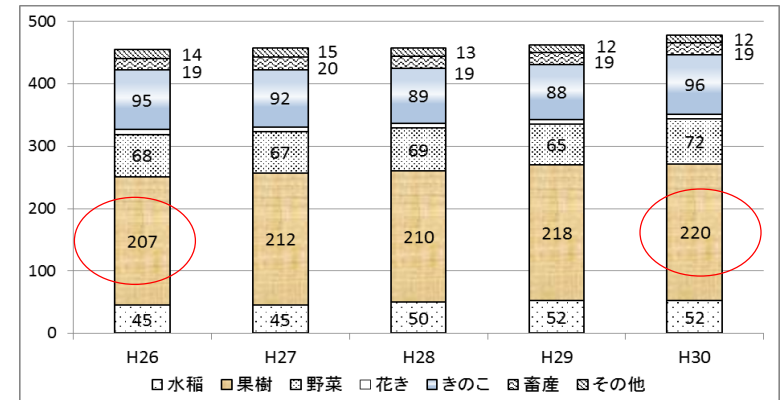
■ 主力品目である「りんご」「ぶどう」をはじめ、あんず、もも、くりなど多様な果物の産地

果物語りの取組などによる効果

■ 果樹産出額の増加

H26 207億円 → H30 220億円 (106%)

農産物産出額の推移 (H26~H30 長野管内) (単位:億円)



■ 果樹戦略品種※の栽培面積の拡大

H28 1,155ha → R元 1,351ha (117%)

※戦略品種：りんご：シナリップ、秋映
 ぶどう：カガバール、シャインマスカット、クイーンズJ1
 もも：なつこ なし：南水

■ 果樹栽培 新規就農者数

H29~R元の3年間で 90人

■ 県内外での認知度向上など

- ・東京新宿高野などでの、果物やスイーツの販売
- ・果樹のPR・販売を通じた被災地の復興支援